

(C) 実例を含む、計算についての解説。

(D) 実例を含む、統計試験の解説。

(E) その他。試験について完全かつ詳細に解説するに妥当で適切であると申請担当者/登録者がみならず、いっさいの追加情報。

(vii) 認証。試験監督者による真正であるとの認証（サイン、タイプした名前、住所、電話番号、および日付を含む）。

(viii) 参考文献。

(ix) 付録。

(A) 刊行済みおよび未刊行の文献、企業報告書、書簡、等の再版物。OPP ファイル中にあることは期待できないが、申請担当者/登録者が試験のレビューの助けになると考えるもの。

(B) 本概説の他のどの項にも当てはまらない、その他の付属情報。

付録 A 国内作物圃場試験の例数と場所に関する手引きとしての、表および添付資料。

表および添付のリスト

表 1. 個々の作物にトレランスを設定するための作物圃場試験の最低例数および処理済試料の数

表 2. 作物グループに対する圃場試験の必要例数 (40 CFR 180.41)

表 3. 作物サブグループに対する圃場試験の必要例数 (40 CFR 180.41)

表 4. 作物「グループ」に対する圃場試験の必要例数 (40 CFR 180.1(h))

表 5. 3 例を上回る試験を必要とする作物に対する地域別の圃場試験の分布案

表 6. 作物生産の地域分布

添付書 7. 圃場試験の例数決定方法

添付書 8. 残留分析のための監督下圃場試験から得た農産物の試料の最低サイズに関する Codex ガイドライン

添付書 9. 試験分布のための栽培地域の地図

添付書 10. 地域の境界の規定

添付書 11. 地理的に登録が制限されたトレランスおよび FIFRA 24(c) 項の特定地域ニーズ登録に必要な圃場試験例数

表 1. 個々の作物にトレランスを設定するための作物圃場試験の最低例数および処理済試料の数

本ガイドラインの本文および本付録の添付 7 で解説する手順に従い、個々の作物でトレランスを得るために必要な圃場試験の最低例数および処理済試料数を明記する。本表において 8 例以上の試験を必要とする作物については、特定の基準が合致すれば、残留量を結果的に定量できない用途に対して試験例数の 25% 削減が適用可能である（詳細は OPPTS 860.1500 を参照）。作物グループトレランス（本付録の表 2 を参照）および一部の作物サブグループトレランス（本付録 A の表 3 を参照）を得るために利用される代表的産物には、同一の削減が認められる。

（注意：所定の作物に 25% 削減を両方とも（LOQ 未満の残留量および作物グループ）適用することは認められないであろう。）

本表にある例数は、残留量が最も高くなるラベル使用パターンを反映した、許容可能な試験の最低例数を示している。その他の使用パターンを反映した試験、または何らかの理由で有効な試料を作り出せない試験はカウントされない。さらに、こうした試験例数は当該作物への使用が要請されている1つの製剤タイプだけを前提としている。製剤の種類を追加を望む場合には、本ガイドラインの製剤の項で論じるとおり、データの追加が必要となる可能性がある。

3例以上の試験を必要とする作物については、各圃場試験から最低2つの処理済試料が必要である。必要な試験が3例未満の作物の場合、各試験では独立した4つの処理区から処理済試料が最低4つ必要となり、うち2つの試料は提案されている最大の施用量(1倍)を反映するもの、あと2つは2倍の用量を反映するものである。本ガイドラインの試料採取の必要条件の項で論じるとおり、各混成試料は処理区を通る別々の畝ごとに採取すべきである。1つの区画からの1つの試料を分割したり、あるいは1つの試料を2度分析しても、2つの試料を別々に採取・分析する代わりに手段として認められない。単一の試料または部分試料の複数回分析は、データポイント1つに相当するに過ぎない。

表 1. 作物圃場試験の最低例数および個々の作物においてトレランスを調べるための処理済試料

作物	試験の最低例数	処理済試料の最低数
アセロラ (バルバドスチェリー)	1	4
アルファルファ	12	24
アーモンド	5	10
りんご (砂糖)	2	8
りんご	16	32
あんず	5	10
Arracacha	2	8
アーティチョーク (球部)	3 or 2*	6 or 8*
きくいも	3	6
アスパラガス	8	16
アテモヤ	1	4
アボカド	5	10
バナナ	5	10
大麦	12	24
いんげん類 (乾燥) ¹	12	24
いんげん類 (可食鞘つき) ¹	8	16
ライマビーン (乾燥)	3	6
ライマビーン (緑色)	8	16
マングビーン	3 or 2*	6 or 8*
スナップビーン	8	16
いんげん類 (多汁、鞘なし) ¹	8	16
レッドビート	5	10
ブラックベリー	23	26
ブルーベリー	8	16
Bok choy	2	8
ボイゼンベリー	2	8
ブロッコリ	8	16
ブロッコリ (中国) (gai lon)	2	8
芽キャベツ	3 or 2*	6 or 8*
そば	5	10
キャベツ	8	16
はくさい	3	6
カカオ豆 (ココア)	3	6
ヒョウタンノキ	2	8
カラマンディンの実	1	4
カノーラ	8	16
カンタループメロン	8	16
カラシボラ	2	8
いなが豆	3	6
にんじん	8	16
キャッサバ(苦または甘)	2	8
カリフラワー	8	16
セロリ	8	16
おうとう (タルト) (酸味)	8	16
甘味おうとう	8	16
くり	3	6
ひよこ豆 (ガルバンゾビーン)	3	6
チョコレート	2	8

クローバー	12	24
ココヤシ	5	10
コーヒー	5	10
コラード	5	10
フィールドコーン	20	40
ポップコーン	3	6
スイートコーン	12	24
綿	12	24
ささげ (乾燥、鞘なし豆)	5	10
ささげ (多汁、鞘なし豆)	3	6
ささげ (まぐさ/乾草)	3	6
クラブアップル	3	6
クランベリー	5	10
からしな (高地)	1	4
きゅうり	8	16
スグリ	2	8
西洋たんぽぽ	1	4
さといも (タロイモ)	2	8
なつめやしの実	3 or 2*	6 or 8*
イノンド (種子、草)	2	8
なす	3	6
アメリカニワトコの実	3	6
エンダイブ (キクヂシヤ)	3	6
いちじく	3 or 2*	6 or 8*
ハシバミ (ヘーゼルナッツ)	3 or 2*	6 or 8*
亜麻	5	10
にんにく	3	6
チブサノキの果実	1	4
しょうが	2	8
朝鮮にんじん	3 or 2*	6 or 8*
グースベリー	3	6
グレープフルーツ	8	16
ぶどう	12	24
いね科植物 (作物グループ) (表2も参照)	12	24
グアー	3 or 2*	6 or 8*
グアバ	2	8
ホップ	3	6
西洋わさび	3	6
ハックルベリー	3	6
ケール	3	6
キウイフルーツ	3 or 2*	6 or 8*
コールラビ	3	6
きんかん	1	4
リーキ	3	6
レモン	5	10
ひら豆	3	6
ヘッドレタス	8	16
リーフレタス	8	16
ライム	3	6
ローガンベリー	2	8
リュウガンの実	1	4
レンコン	1	4
レイシ	1	4
マカダミアナッツ	3 or 2*	6 or 8*
サボテ (マーメイメイ)	2	8
マンダリン (タンジェリン)	5	10
マンゴー	3 or 2*	6 or 8*
メロン (カサバ)	3	6
メロン (クレンショー)	3	6
メロン (ハニーデュー)	5	10
プロソミレット	5	10
ミント	5	10
くわ属の実	3	6
マッシュルーム	3	6
マスクメロン ⁴	8	16
からしの種子 (中国)	2	8
からしの種子 (緑色)	5 ⁵	10 ⁵
ネクタリン	8	16
えんぱく	16	32
オクラ	5	10
オリーブ	3	6
たまねぎ (乾燥、球部)	8	16
たまねぎ (緑色)	3	6

オレンジ、ダイダイ類	16	32
パパイヤ	3 or 2*	6 or 8*
パセリ	3	6
パースニップ	3	6
パッションフルーツ	2	8
ポポー	3 or 2*	6 or 8*
すもも	12	24
らっかせい	12	24
らっかせい (多年生)	3	6
西洋なし	8	16
フィールドピー (オーストリア、冬) (まぐさ/乾草)	3	6
えんどう (中国)	1	4
えんどう (乾燥鞘なし) 17	5	10
さやえんどう	3	6
えんどう (多汁鞘なし) (えんどう、ガーデン、多汁)	8	16
ペカン	5	10
ピーマン	8	16
ペッパー (ペルペッパー以外)	3	6
かき	3 or 2*	6 or 8*
ビメント	2	8
パイナップル	8	16
ピスタチオ	3	6
バナナ(料理用)	3 or 2*	6 or 8*
すもも	8	16
ざくろの実	3 or 2*	6 or 8*
ばいれいしょ	16	32
スカッシュ	5	10
マルメロ	3 or 2*	6 or 8*
だいこん	2	8
はつかだいこん	5	10
なたね	3	6
ラズベリー (黒、赤)	23	26
ルバーブ	2	8
米	16	32
アメリカマコモ	5	10
カブカンラン野菜	3	6
ライ麦	5	10
べいばな	5	10
いが豆	3	6
バラモンジン	3	6
ごま	3	6
シャロット	1	4
ソルガム (穀物)	12	24
大豆 (乾燥)	20	40
ほうれんそう	8	16
サマースカッシュ	5	10
ウインタースカッシュ	5	10
いちご	8	16
てんさい	12	24
さとうきび	8	16
ひまわりの種子	8	16
かんしょ	8	16
ふだんそう (スイス)	3	6
タンジェロ	3	6
タニア (ココヤム)	2	8
たばこ	3	6
トマト	16	32
かぶ(根)	5	10
かぶ (地上部) (葉)	5	10
くるみ (黒、イギリス)	3	6
オランダガラシ	2	8
すいか	8	16
小麦	20	40
やまいも	3	6

*これらの作物に関しては、登録者/申請担当者は希望すれば、試験あたり2つの処理区試料(1倍用量)を用いた3例の試験、または試験あたり4つの処理区試料(1倍用量で2つ、2倍用量で2つ)を用いた2例の試験が実施できる。

1 これらのいんげん/えんどう産物には、複数の種類のいんげん/えんどうがある。こうした各産物に含まれる特定の産物を下に示す。各ケースにおいて圃場試験を実施すべき特定の代表的産物は、40 CFR 180.41における作物サブグループに記載がある代表的産物である。いんげん、可食鞘つき: Phaseolus spp., Vigna spp., ナタマメ、大豆 (未成熟種子) およびナタマメなどサブグループ 6-A にリストされている産物を含む。えんどう (可食鞘つき): Pisum spp. およびキマメなど、サブグループ 6-A にリストされている産物を含む。いんげん (多汁、鞘なし): Phaseolus spp., Vigna spp. およびそら豆など、サブグループ 6-B にリストされている産物を含む。

む。えんどう(多汁、鞘なし): Pisum spp. およびキマメなど、サブグループ6-Bにリストされている産物を含む。いんげん(乾燥、鞘なし)(大豆を除く): Lupinus spp., Phaseolus spp., Vigna spp., グアーおよびラブラブなど、サブグループ6-Cにリストされている産物を含む。えんどう(乾燥、鞘なし): Pisum spp., ヒラマメおよびキマメなど、サブグループ6-Cにリストされている産物を含む。

2 「caneberries」に関するトレランスを求めている場合、ブラックベリー1つまたはラズベリー1つに最低5例の試験(および10の試料)が要求される(本付録の表3または表4を参照)。ブラックベリーのみまたはラズベリーのみに関してトレランスを求めている場合、最低3例の試験(および6つの試料)が要求される。

3 ミントのトレランスは、ミドリハッカおよびまたはペパーミントの残留データを利用して入手できる。ミドリハッカとペパーミントどちらか別々にトレランスを求めている場合、5例の試験をさらに必要とする。

4 マスクメロンのトレランスは、カンタループメロンの残留データを利用して入手できる。

5 あぶらな科の葉菜の作物サブグループにトレランスを求めている場合、からしの葉に最低8例の試験(および16の試料)を必要とする(本付録の表3を参照)。

6 オーストリアの冬えんどうで好ましい品種を用いたフィールドピーのまぐさおよび乾草には最低3例の試験を必要とする。フィールドピーの種子は乾燥鞘なしえんどうとみなされ、試験は最低5例必要とする。

7 乾燥鞘なしえんどうに必要とする試験例数は、乾燥ガーデンピー(Pisum spp.)とひら豆の耕地面積と消費量を合わせたものに基づいている。

表2 作物グループに対する圃場試験の必要例数(40 CFR 180.41)

作物グループ	代表的産物	作物グループの一部でない場合の産物の圃場試験例数	作物グループの一部としての産物の圃場試験例数
(1)根菜および塊茎状野菜	にんじん	8	6
	ばれいしょ	16	12
	はつかだいこん	5	5
	てんさい	12	9
			総計=32
(2)根菜および塊茎状野菜の葉(ヒト食用または動物飼料)	かぶ	5	5
	てんさいまたはレッドビート	12	9
			総計=14
(3)球根状の野菜類	緑色たまねぎ	3	3
	乾燥たまねぎ(球部)	8	6
			総計=9
(4)葉菜類(あぶらな科の野菜を除く)	結球レタス	8	6
	ヘッドレタス	8	6
	セロリー	8	6
	ほうれんそう	8	6
			総計=24
(5)あぶらな科葉菜類	ブロッコリーまたはカリフラワー	8	6
	キャベツ	8	6
	マスタード(緑)	5	5
			総計=17
(6)まめ科野菜(多汁または乾燥)	いんげん(Phaseolus spp.)、多汁	16	12
	いんげん(Phaseolus spp.)、乾燥	12	9
	えんどう(Pisum spp.)、多汁	11	9
	えんどう(Pisum spp.)、乾燥	5	5
	大豆	20	15
		総計=50	
(7)まめ科野菜の葉	いんげん ³	3	3
	フィールドピー(Pisum spp.)	3	3
	大豆	20	15
			総計=21
(8)果菜類(うり科を除く)	トマト	16	12
	ペッパー(ベル+ベル以外の1品種)	11(8+3)	9(6+3)
			総計=21
(9)うり科野菜類	きゅうり	8	6
	マスクメロン	8	6
	サマースカッシュ	5	5
			総計=17
(10)柑橘類(Citrus, spp., Fortunella spp)	オレンジ	16	12
	レモン	5	5
	グレープフルーツ	8	6
			総計=23
(11)仁果類	りんご	16	12

	西洋なし	8	6
			総計=18
(12)核果類	甘味またはタルト（酸味） おうとう	8	6
	すもも	12	9
	すもも（または新鮮ブルーベリー）	8	6
			総計=21
(13)ベリー類	ブラックベリー1つまたはラズベリー1つ	3	3
	ブルーベリー（高かん木性）	8	6
			総計=9
(14)木の实類	アーモンド	5	5
	ペカン	5	5
			総計=10
(15)穀類	新鮮スイートコーン	12	9
	乾燥フィールドコーン	20	15
	米	16	12
	ソルガム	12	9
	小麦	20	15
			総計=60
(16)穀類のまぐさ、飼料および藁	とうもろこし	20	15
	小麦	20	15
	その他すべての穀類	16	12
			総計=42
(17)牧草のまぐさ、飼料、および乾草	ぎょうぎしば、いちごつなぎ、およびブロングラスまたはフェスク	12（各品種あたり4例の試験）	総計=12
(18)非牧草動物飼料（まぐさ、飼料、藁、および乾草）	アルファルファ	12	9
	クローバー	12	9
			総計=13
(19)ハーブ類およびスパイス類 ³	めぼうき（新鮮および乾燥）	3	3
	あさつき	3	3
	イノンドの種子またはセロリーの種子	2	3
	黒こしょう	3	3
			総計=12

¹総計 12 例の圃場試験が必要。6 例は可食鞘つきいんげんに、あと 6 例は多汁鞘なしいんげんに。

²総計 9 例の圃場試験が必要。3 例は可食鞘つきえんどうに、あと 6 例は多汁鞘なしえんどうに。

³ささは代表的産物として提案されている。

表 3 作物サブグループに対する圃場試験の必要例数（40 CFR 180.41）

作物グループに必要な圃場試験例数は表 2 に記載されている。作物グループについて、表 1 に示される圃場試験の必要例数は代表的産物それぞれに対し実施すべきである。ただし、通常 8 例以上の試験を必要とする代表的産物には 25%減少させた試験が要求されることを例外とする。この手順は下記の表に示されている作物サブグループには必ずしも適用されない。その理由は、多くのケースで代表的産物が減少しているからである（40 CFR 180.41）。下記の表および付随する脚注には、作物サブグループの圃場試験の必要例数を記載する。

作物サブグループ	代表的産物	その他の産物	生産エーカー数 ⁸ （×1000）	消費比率	圃場試験例数 ²
1A. 根菜類 ³	にんじん		98	0.322	6
	はつかだいこん		46	0.003	5
	てんさい		1350	0.617	9
		総計	1494	0.942	20
1B. てんさいを除く根菜類 ³	にんじん		98	0.322	6
	はつかだいこん		46	0.003	5
		レッドビート	13	0.042	
		かぶ	20	0.043	
		総計	177	0.410	11
1C. 塊茎および球茎野菜類 ⁴	ばれいしょ		1310	2.091	16
		かんしょ ⁸	90.5	0.072	
		総計	1400	2.163	16
1D. 塊茎および球茎野菜類（ばれいしょを除く） ⁴	かんしょ ⁸		90.5	0.072	8
4A. 緑色葉菜 ³	ヘッドレタス		240	0.394	6
	リーフレタス		51	0.025	6
	ほうれんそう		36	0.081	6
		総計	327	0.500	18

4B. 葉柄野菜 ⁴	セロリー ⁸		36	0.114	8
5A. あぶらな科野菜（結球部、茎部） ³	キャベツ ⁸		98.7	0.182	6
	カリフラワーまたは（ブロッコリー）		65(115)	0.029 (0.091)	6
		総計	278.7	0.302	12
5B. あぶらな科の緑色葉菜 ⁷	マスタード（緑色）		9.7	0.027	7 ⁵
		はくさい（パクチョイ）	8.7	0.007	
		コラード	15	0.035	
		ケール	6.2	0.003	
		総計	39.6	0.072	7 ⁸
6A. 可食鞘つきまめ科野菜 ³	可食鞘つきいんげんの多汁品種1つ（Paseolus spp.）		289	0.372	6
	可食鞘つきえんどうの多汁品種1つ（Pisum spp.）		不明	不明	3
		総計	289	0.372	9
6B. 多汁、鞘なしえんどうおよびいんげん ³	多汁鞘なし品種のいんげん1つ（Phaseolus spp.）		51	0.048	6
	ガーデンピー1つ（Pisum spp.）		314	0.319	6
		総計	365	0.367	12
6C. 乾燥、鞘なしえんどうおよびいんげん（大豆を除く） ³	乾燥品種のいんげん1つ（Phaseolus spp.）		1750	0.267	9
	乾燥品種のえんどう1つ（Pisum spp.）		395	0.005	5
		総計	2145	0.272	14
7A. 大豆を除く、まめ科野菜の葉 ³	いんげんの品種のうちいずれか（Phaseolus spp.）		2090	0	6
	フィールドピー（Pisum spp.）		709	0	5
		総計	2799	0	11
9A. メロン ⁴	カンタループメロン		130	0.083	8
		すいか	193	0.142	
		メロン（ハニーデュー）	29	0.034	
		総計	352	0.259	8
9B. かぼちゃ/きゅうり ³	サマースカッシュの品種1つ		29	0.059	5
	きゅうり		130	0.134	6
		スカッシュ	41	0.008	
		ウィンタースカッシュ	29	0.060	
		総計	229	0.261	11
13A. Caneberry（ブラックベリーおよびラズベリー） ⁵	ブラックベリー ⁸ のいずれか1つ（またはラズベリーのいずれか1つ）		7.9(15)	0.018 (0.006)	3(3)
		総計	22.9	0.024	5
13B. bushberry ⁴	ブルーベリー（高かん木性）		59	0.017 (離乳幼児の消費 = 0.043%)	8
19A. ハーブ ⁶	めぼうき（新鮮および乾燥）				3
	あさつき				3
		総計	2.75	0.014	6
19B. スパイス ⁶	こしょう（黒）				3
	セロリーの種子またはイノンドの種子				3
		総計	2.75	0.014	6

1「その他の産物」の欄には、代表的産物の予想耕地面積が5%を上回る産物のみを含む。

2代表的産物すべてに、最低3例の圃場試験が必要である。

3これらの作物に必要な圃場試験例数は、作物グループについて同一の形式で決められた。

4こうした各作物サブグループについて、代表的産物に必要な通常の圃場試験例数が作物サブグループに要求される。

5Caneberryの圃場試験の必要例数（5例）は、ブラックベリーおよびラズベリーの総耕地面積および消費量の予測を利用するとともに、個々の産物に必要な圃場試験例数の判断に利用するものと同一の基準を適用して決められた。ブラックベリーとラズベリーのど

ちらか別々にトレランスを求めていけば、圃場試験は最低3例必要である。

6サブグループ「ハーブ」および「スパイス」について、必要な圃場試験の最低例数（3例）は代表的産物それぞれに要求された。

7あぶらな科緑色野菜の圃場試験の必要例数は、サブグループ内の主要産物の総耕地面積および消費量の予測を利用するとともに（マスタード（緑色）はこの全体のうち相対的にわずかであるため）、個々の産物に必要な圃場試験例数の判断に利用するものと同一の基準を適用して決められた。従って、あぶらな科緑色野菜にトレランスを求めていけば、試験は最低8例必要である。「マスタード（緑色）」のみのトレランスが希望であれば、最低5例の試験が必要である（表1を参照）。

8下記の産物の耕地面積の情報（数千エーカー投与されている）および消費量には、産物それ自体とともに、トレランスが40 CFR 180.1(h)に定められるとおりに適用される他の産物の耕地面積と消費量の値を含んでいる：ブラックベリー類：ブラックベリー類(6.7)、ボイゼンベリー（1.2）；キャベツ：キャベツ(90)、はくさい（napa）(8.7)；セロリー（36）、ウイキョウ（消費データのみ入手可）；かんしょ：かんしょ(87)、やまいも類(3.5)。

表4. 作物「グループ」に対する圃場試験の必要例数
(40 CFR 180.1 (H))

連邦規制の規約（40 CFR 180.1(h)）では、以下のことを述べている：

A欄にリストされている、一般カテゴリのRAC内部または表面の農薬化学物質に設定されたトレランスおよび免責事項は、B欄にリストされていて該当する特定のRACに適用される。しかし、B欄の特定産物に対するトレランスおよび免責事項は、A欄の一般のカテゴリには適用されない。

CFRの本項では、明らかに異なる2つの状況を扱っている。第一の状況において、ある特定産物はA欄とB欄の双方に盛り込まれている。その産物の残留データは、その産物自体のほか、B欄にリストされている追加品目についての登録またはトレランスを支えている。これらの品目には以下のA欄の産物を含む：アルファルファ、バナナ、ブラックベリー、ブロッコリ、キャベツ、セロリー、エンダイブ、結球レタス、リーフレタス、マジョラム、マスクメロン、たまねぎ（乾燥球部のみ）、葉たまねぎ、すもも、ソルガム（穀粒、飼料葉、まぐさ）、sugar apple、サマースカッシュ、かんしょ、タンジェリン、トマト、かぶ（根部）またはかぶの葉、および小麦。A欄の品目についての圃場試験の必要例数および分布は、この状況ではB欄の品目を支える。このような産物への圃場試験の最低例数は、本付録の表1または添付7に明記されている。（注意：「マスクメロン」、「だいこん」、「なたね」、および「サマースカッシュ」がA欄に入っていることは別として、B欄には名前が出ていないが、実用本位の目的からこうした品目が入っている場合、本付録の表1に明記されている圃場試験の例数とともに、上に記載した状況に該当するものとして扱う。）

第2の状況は、A欄内の品目が、B欄内の産物のグループを特定する表現である場合に発生する。これらの品目には以下のA欄の産物を含む：いんげん、いんげん（乾燥）、いんげん（多汁）、caneberries、おうとう、柑橘類、レタス、メロン、たまねぎ、えんどう、えんどう（乾燥）、えんどう（多汁）、ペッパー、およびかぼちゃ。これらA欄の産物は本質的に作物「グループ」であるため、このような「産物」に必要な圃場試験例数は作物サブグループ（または柑橘の場合、作物グループ）についてと同様の形式で決められよう。下記の表4にリストされているのは、このようなA欄の産物のトレランスを支えるための圃場試験の要件である。代表的産物がB欄から複数示されている。各ケースにおいて、A欄の「産物」を支えるために圃場試験データが要求されている。また、各代表的産物に対する圃場試験の必要例数も記載されている。これらは作物グループおよびまたはサブグループと同様に扱われるため、代表的産物が2つ以上存在する場合には、通常8例以上の圃場試験を必要とする産物に対し、圃場試験の必要例数の25%削減が適用される。

表4. 作物「グループ」の圃場試験の必要例数（40 CFR 180.1(h)）

A欄の産物	代表的なB欄の産物	エーカー (×1000)	消費比率 (%)	作物グループ にない場合の 圃場試験例数	A欄の作物 「グループ」 の一部である 場合の圃場試 験例数	A欄の作物 「グループ」 のトレラン ス設定に必 要な圃場試 験の総数
いんげん類	可食鞘つきいんげん	289	0.372	8	6	

	の多汁品種 1 つ (Phaseolus spp.)					
	いんげんの多汁鞘なし 品種 1 つ (Phaseolus spp.)	51	0.048	8	6	
	鞘なしいんげんの乾 燥品種 1 つ (Phaseolus spp.)	1750	0.267	12	9	
						21
いんげん類 (乾燥)	鞘なしいんげんの乾 燥品種 1 つ (Phaseolus spp.)	1750	0.267	12	12	12
いんげん類 (多汁)	鞘つきいんげんの多 汁可食品種 1 つ (Phaseolus spp.)	289	0.372	8	6	
	いんげんの多汁鞘なし 品種 1 つ (Phaseolus spp.)	51	0.048	8	6	
						12
Caneberries	ブラックベリーいず れか 1 つまたはラズ ベリーいずれか 1 つ	23	0.024	3	5	5
おうとう	タルト (酸味) おうと う	68.4	0.035	8	6	
	甘味おうとう	60.5	0.031	8	6	
						12
柑橘類	表 2 を参照					23
レタス	結球レタス	240	0.394	8	6	
	リーフレタス	51	0.025	8	6	
						12
メロン	カンタルーブメロン	130	0.083	8	8	8
たまねぎ	たまねぎ (乾燥球部)	246	0.199	8	6	
	葉たまねぎ	18.1	0.004	3	3	
						9
えんどう類	可食鞘つきエンドウ の多汁品種 1 つ (Pisum spp.)	不明	不明	3	3	
	鞘なしえんどうの多 汁品種 1 つ (Pisum spp.)	314	0.319	8	6	
	鞘なしえんどうの乾 燥品種 1 つ (Pisum spp.)	395	0.005	5	5	
						14
えんどう類 (乾燥)	鞘なしえんどうの乾 燥品種 1 つ (Pisum spp.)	395	0.005	5	5	5
えんどう類 (多汁)	可食鞘つきえんどう の多汁品種 1 つ (Pisum spp.)	不明	不明	3	3	
	鞘なしえんどうの多 汁品種 1 つ (Pisum spp.)	314	0.319	8	6	
						9
ペッパー	ベルペッパー	70.6	0.040	8	6	
	ペッパー (ベル以外)	27.7	0.016	3	3	
						9
かぼちゃ ¹	サマースカッシュの 1 品種	29.0	0.055	5	8	8

1 本付録のかぼちゃ/きゅうりのサブグループ案 (表 3 を参照) と矛盾が生じないように、サマースカッシュの 1 品種をスカッシュおよびスカッシュすべてを代表するものとして選択した。だが、これらの産物すべての栽培面積と消費量の合計が、代表的産物であるサマースカッシュの合計をはるかに上回っているため (合計栽培面積 = 99,000、サマースカッシュおよびウィンタースカッシュの 58,000 ならびにスカッシュの 41,000 を含む; 合計消費量はそれぞれ、一般人口が 0.118% および離乳幼児が 0.2% である。)、後者の圃場試験の必要例数は 5 例から 8 例へと 1 レベル引き上げられた。その代わりとして、「かぼちゃ」のトランスを手入するためにサマースカッシュおよびウィンタースカッシュにはそれぞれ 5 例の試験が実施できよう。

表5. 3例を上回る試験を必要とする作物に対する地域別圃場試験分布案

作物	総試験例数 ¹	地域での試験例数												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
アルファルファ	12	1	1			6		1		1	1			
	9	1				4		1		1	1			
アーモンド	5										5			
りんご	16	4	2			3				1	1	5		
	12	3	1			2				1	1	4		
あんず	5										4	1		
アスパラガス	8		1			2					3	2		
	6		1			2					2	1		
アボカド	5			1							4			
バナナ	5													4
大麦	12	² 1	² 1			3		4		1	1	2		
	9	² 1	² 1			2		3		1	1	1		
いんげん (乾燥)	12	1				5		2	1	1	1	1		
	9					4		1	1	1	1	1		
ライマピーン (緑色)	8		4			1					2	1		
	6		3			1					1	1		
スナップピーン	8	1	1	1		3					1	1		
	6	1	1	1		2						1		
レッドビート	5	1				2	1							1
ブラックベリー ³	5		1				1							3
ブルーベリー	8	1	3			3								1
	6	1	2			2								1
ブロッコリ	8						1				6			1
	6						1				4			1
そば	5	1				1		3						
キャベツ	8	2	1	1		1	1		1		1			
	6	1	1	1		1	1				1			
カノーラ	8		1			2		2					3	
	6		1			2		1					2	
カンタルーブメロン	8		1			1	2				4			
	6		1			1	1				3			
にんじん	8			1		1	1				4	1		
	6			1		1	1				3			
カリフラワー	8	1				1					5			1
	6	1				1					3			1
セロリー	8			2		1					5			
	6			1		1					4			
酸味おうとう (タルト)	8	1				5				1		² 1	² 1	
	6	1				4				1				
甘味おうとう	8					2					2	3	1	
	6					2					2	2		
クローバー	12	1	1		1	3	1	1	1	1	1	1		
	9	1	1		1	2	1	1	1		² 1	² 1		
ココヤシ	5													5
コーヒー	5													5
コラード	5		2	1			1				1			
フィールドコーン	20	1	1			17	1							
	15	1	1			12	1							
スイートコーン	12	2	1	1		5					1	1	1	
	9	1	1	1		3					1	1	1	
綿	12		1		3		1		4		3			
	9		1		2		1		3		2			
ササゲ (乾燥鞘なし豆)	5			1		1	3							
ササゲ6 (まぐさ/乾草) (多汁鞘なし豆)	3		1		1		1							
クランベリーの実	5	2				2								1
きゅうり	8		3	1		2	1				1			
	6		2	1		2	1							
フラックス	5					2		3						
グレープフルーツ	8			5			1				2			
	6			3			1				2			
ぶどう	12	2									8	2		
	9	2									5	2		
牧草類 (国中の全地域)	12/9													
レモン	5			1							4			

結球レタス	8	² 1	² 1	1									6			
	6	² 1	² 1	1									4			
リーフレタス	8	² 1	² 1	1									6			
	6	² 1	² 1	1									4			
マンダリン (タンジェリン)	5												2			
メロン (ハニーデュー)	5							1					4			
プロソミレット	5							1		2	2					
ミント	5							2							3	
からしな ⁴	8		2	1	1	1	1						2			
	5		1			1	1	1					1			
ネクタリン	8	1	1										5	1		
	6	² 1	² 1										4	1		
えんぱく	16	1	1					9	1	3	1					
	12	1	1					6	1	2	1					
オクラ	5		1	1	1					2						
たまねぎ (乾燥球部)	8	1						1	1		1		2	1	1	
	6	1							1		1		2	1		
オレンジ、ダイダイ類	16				11				1				4			
	12				8				1				3			
すもも	12	1	4			1	1	1					4			
	9	1	3				1	1					3			
らっかせい	12		8	1					2		1					
	9		5	1					2		1					
西洋なし	8	1											3	4		
	6	1											2	3		
ガーデンピー (多汁)	8	² 1	² 1					4					2	1		
	6	² 1	² 1					3					1	1		
ペカン	5		2		1		1			1						
ピーマン	8		2	2		1	1						2			
	6		1	1		1	1						2			
パイナップル	8															8
	6															6
すもも	8						1						5	1	1	
	6						1						4		1	
ぼれいしょ	16	2	1	1			4					1	1	6		
	12	2	1	1			2					1	1	4		
スカッシュ	5	1	1			1	1						1			
はつかだいこん	5	1		2		1							1			
なたね ⁶	3									1				2		
ラズベリー (黒、赤) ³	5	1				1									3	
米	16					11	1	2					2			
	12					7	1	2					2			
アメリカマコモ	5						4						1			
ライ麦	5		1				2			2						
べにばな	5									2			3			
ソルガム (穀粒)	12		1		1	4	2	1	3							
	9				1	3	2	1	2							
大豆 (乾燥)	20		2		3	15										
	15		2		2	11										
ほうれんそう	8	1	2					2				1	2			
	6	1	1					1				1	2			
サマースカッシュ	8	1	2	1		1	1						1	1		
	5	1	1	1		1							1			
ウィンタースカッシュ	5	1	1	1		1							1			
いちご	8	1	1	1		1							3		1	
	6	1		1		1							2		1	
てんさい	12						5		1	1	1	2	2			
	9						5		1	1		1	1			
さとうきび	8			3	3			1								1
	6			3	2											1
ひまわり	8						3		4	1						
	6						2		3	1						
かんしょ	8		4	1	1		1						1			
	6		3		1		1						1			
トマト	16	1	1	2		1							11			
	12	1	1	2		1							7			
かぶ (地下茎)	5		2			1	1						1			
かぶ (地上部) (葉)	5		2		1	1	1									
すいか	8		2	2		1	2						1			

	6		2	1		2				1			
小麦	20		1		1	5	1	5	6			1	
	15		1		1	3	1	4	4			1	

¹ 1つの作物に対し2つの項目が記載されている場合(下で説明する通り、からしなおよびサマースカッシュを除く)、2番目の項目は、作物が作物グループトレランスを得る目的で利用される代表的産物であるか、または農薬を使用した結果残留物が検出されないことを理由に、試験例数を25%削減する可能性のある状況を対象としている。

² どちらの地域でも許容可。

³ 「caneberry」(本付録の表3または表4を参照)にトレランスを求めている場合、ブラックベリーのどれか1つ、またはラズベリーのどれか1つに最低5例の試験が要求される。ブラックベリーのみ、またはラズベリーのみにトレランスを求めている場合は、最低3例の試験が必要。

⁴ 作物サブグループのあぶらな科葉菜類(本付録の表3を参照)にトレランスを求めている場合、からしには最低8例の試験が必要となる。からしなのみのトレランスを要求していれば、必要な試験は最低5例である。

⁵ 「サマースカッシュ」のトレランスには最低5例の試験が必要。「カボチャ」のトレランスを求めている場合、代表的産物としてサマースカッシュ(本付録の表4を参照)に最低8例の試験が必要である。代わりとして、サマースカッシュおよびウィンタースカッシュにそれぞれ5例の試験を実施して「カボチャ」のトレランスを得ることも可能。

⁶ なたね、ササゲのまぐさ/乾草、およびササゲ(多汁鞘なし豆)の地域生産高は本付録の表6には記載がないものの、提案されているこれらの作物の地域を決めるにあたり十分な情報が入手可能である。

表6. 作物生産の地域分布

作物	生産高の総占有比率	地域での生産高(栽培面積ベース)の比率												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
アルファルファ	99	8	3			51		14		13	4	6		
アーモンド	100										100			
りんご	97	27	11			20				3	6	30		
あんず	96										89	7		
アーティチョーク(球部)	100										100			
アスパラガス	97		3			28					38	28		
アボカド	100			9							91			
バナナ	99			<10									>90	
大麦	99	2	2			29		36	2	6	3	19		
いんげん(乾燥)	99	2				45		17	11	3	10	11		
ライマビーン(乾燥)	99										97	2		
ライマビーン(緑色)	97		46			12					28	11		
マングビーン	95							95						
スナップビーン	97	14	16	9		45					3	10		
レッドビート	97	28	2			45	6				5		11	
ブラックベリー	95		7		3	6	6						73	
ブルーベリー	94	11	36			40							7	
チンゲンサイ	99		13	40							39		7	
ボイゼンベリー	99												99	
ブロッコリ	100						5				92	3		
芽キャベツ	97	2									95			
そば	96	15				15		66						
キャベツ	93	21	16	11		18	12		3		12			
はくさい	97	5	8	34							46		4	
カカオ豆	100												100	
カノーラ ²	90		15			25		20				30		
カンタループメロン	95	2	5			6	23				59			
にんじん	98			10		13	9				59	5	2	
カリフラワー	97	4		2		4					77		10	
セロリー	99			23		9	4				63			
酸味おうとう(タルト)	100	11				75				9		3	2	
甘味おうとう	98	4				20				4	22	39	9	
ココヤシ	100												100	
コーヒー	100												100	
コラード	99	4	60	8	4	6	7				10			
フィールドコーン	97	3	6			86	2							
ポップコーン	95					91			4					

スイートコーン	96	13	4	8		50				3	11	7	
綿	97		8		26		11		37		15		
ササゲ(乾燥鞘なし豆)	89			18		10	61						
クランベリーの実	88	45				33						10	
きゅうり	94	3	36	10		27	10			5		3	
スグリ	98											98	
なつめやしの実	100									100			
なす	94	5	35	35	2	5				10			2
エンダイブ(キクヂシャ)	96	5	13	66						12			
いちじく	99									99			
ハシバミ/ハーゼルナッツ	100											100	
にんにく	100								7	82	11		
しょうが	100												100
グレープフルーツ	100			73			13			14			
ぶどう	96	5								86	5		
グアー	94								94				
ホップ	94										94		
ケール	96	8	44	9	4	11	10			10			
キウイフルーツ	99									99			
キンカン	100			42						58			
レモン	100			3						97			
ひらまめ	99							4			95		
結球レタス+リーフレタス	94	32	32	4						88			
ライム	99			80						19			
ローガンベリー	97											97	
マカダミアナッツ	100									3			97
マンダリン ⁴ (タンジェリン)	99			66						33			
メロン(ハニーデュー)	98						17			81			
ブロンズレット	99					29		35	35				
ミント	99					30						69	
からしな	97		24	5	12	15	20			21			
ネクタリン	98	3	3							88	4		
えんぱく	97	8	2			61	3	20	3				
オクラ	97		28	8	9		46			6			
オリーブ	100									100			
たまねぎ(乾燥球部)	96	10	2			9	15		10	5	21	16	8
葉たまねぎ	97	3	4			8	18		3		54	2	5
オレンジ、ダイダイ類	100			72			2			26			
パパイヤ	96												96
パセリ	99	3	20	20		6	15			33			2
ポポー	100		100										
すもも	97	7	39		3	9	6		2	29	2		
らっかせい	100		72	5			16		7				
西洋なし	95	7				2				33	53		
フィールドピー(オーストラリア、冬)	100											100	
ガーデンピー(乾燥)	97											97	
ガーデンピー(多汁)	92	5	4			49				3	22	9	
ペカン	100		35	3	8	2	34		10	2	6		
ピーマン	92	4	20	25		10	8		2	23			
ペッパー(パル以外)	94		4	3		4			50	15	18		
かき	93			3							90		
ピメント	92		86							6			
パイナップル	100												100
ピスタチオ	100									100			

バナナ(料理用)	100												100
すもも	98					3					90	2	3
ざくろの実	99										99		
ばいしよ	95	11	4	3		27			7	4	39		
スカッシュ	86	20	12			39	5			10			
マルメロ	100										100		
はつかだいこん	96	2		67		21				6			
ラズベリー(黒赤)	97	8				15							74
ルバーブ	94					22							72
米	100				70	3	13				15		
アメリカマコモ	100					79					21		
ライ麦	97	4	13	2		32		42	4				
べにばな	97							44			53		
ソルガム(穀粒)	100		2		6	34	17	12	29				
大豆(乾燥)	99		9		15	75							
ほうれんそう	96	7	17		3	3	26			9	31		
サマーまたはウィンタースカッシュ ⁵	95	10	23	19	3	12	8				14	6	
いちご	99	9	6	11	2	10					43		18
てんさい	100					52		7	8	5	14	14	
さとうきび	100			51	35		4						10
ひまわり	100					35		58	7				
かんしょ	99		66	2	17		7				7		
タンジェロ	100			61							39		
たばこ	98		77			21							
トマト	97	3	6	12		8					68		
かぶ(地下茎)	94	5	35	5	3	13	13				14	2	4
かぶ(地上部)(葉)	98		40	3	22	14	10		2		7		
クルミ(黒、イギリス)	98										98		
ずいか	94		21	19	5	8	21		7		13		
小麦	94		4		4	23	6	26	26			5	

¹管理されている(高かん木性)ブルーベリーのみに基づくブルーベリー生産分布。

²Intermountain Canola が提供した、1993年の栽培面積の情報に基づいたカナダ生産のおおよその分布。

³地域1(ニューヨーク州)および地域2(ニュージャージー州)を代表している。

⁴「ハニータンジェリン」に加え、「その他のタンジェリン」の栽培面積の情報に基づいたマンダリン(タンジェリン)の生産分布。

⁵「かぼちゃ」の栽培面積の情報に基づいた、サマースカッシュおよびウィンタースカッシュ両方の分布。

添付書7. 圃場試験の例数決定法

(1) 下記の通り、栽培面積に基づいて各産物への圃場試験の基本例数を割り当てる：

エーカー数	圃場試験例数
>10,000,000.....	16
>1,000,000・≤10,000,000.....	12
>300,000・≤1,000,000.....	8
>30,000・≤300,000.....	5
>2000・≤30,000.....	3
>200・≤2000.....	2
≥200.....	1

(2) 栽培面積が>300,000 エーカーの産物について、消費量が総消費量(全人口、1~6才児、または離乳児)の≥0.4%

の場合には、必要とする圃場試験例数を1段階（例：5から8に、または8から12に）引き上げること。

- (3) 栽培面積が>300,000 エーカーの産物について、消費量が総消費量の<0.1%の場合には、必要とする圃場試験例数を1段階引き下げること。
- (4) 栽培面積が>300,000 エーカーの産物について、消費量が総消費量の $\geq 0.02\%$ の場合には、必要とする圃場試験例数を1段階引き上げること。
- (5) 「圃場試験の必要例数」の欄について、1つの地域で生産高が90%を上回る産物は、別途脚注で示していない場合、必要とする圃場試験の例数が1段階引き下げられた。
- (6) 生産高が300,000 エーカーを上回り、米国の全人口、離乳児または1~6才児の食事摂取量の1%を上回る産物（サトウキビを除く、脚注3を参照）には、最低16例の圃場試験が必要である。
- (7) 生産高が300,000 エーカーを下回り、米国の全人口、離乳児または1~6才児の食事摂取量の1%を上回る産物には、最低12例の圃場試験が必要である。

産物	栽培面積の最大推定値 (×1000)	消費比率			圃場試験必要例数	脚注
		全人口	離乳児	90%でない圃場試験必要例数		
フィールドコーン.....	63300.00	0.530	0.402	20	20	
大豆 (乾燥)	59200.00	0.631	0.875	20	20	
小麦.....	61700.00	2.620	0.554	20	20	11
りんご.....	601.00	1.260	3.391	16	16	
えんばく.....	6120.00	0.153	0.402	16	16	2
オレンジ (sweet, sour)	791.00	2.313	1.439	16	16	
ばれいしょ.....	1310.00	2.091	0.601	16	16	
米.....	2800.00	0.294	0.710	16	16	2
トマト.....	455.00	1.484	0.318	16	16	
アルファルファ.....	26000.00	0.000	0.000	12	12	
大麦.....	9180.00	0.106	0.075	12	12	
いんげん (乾燥鞘なし) (大豆を除く)	1750.00	0.267	0.054	12	12	15
クローバー.....	37300.00	0.000	0.000	12	12	
スイートコーン.....	671.00	0.440	0.219	12	12	
綿.....	11000.00	0.038	0.003	12	12	
ぶどう.....	833.00	0.437	0.127	12	12	
牧草類 (作物グループ 180.41)	475000.00	0.000	0.000	12	12	
すもも.....	273.00	0.424	1.120	12	12	11
らっかせい.....	1690.00	0.139	0.016	12	12	
ソルガム (穀粒) (ミロ)	11200.00	0.044	0.000	12	12	
てんさい.....	1350.00	0.617	0.207	12	12	3
アスパラガス.....	97.00	0.024	0.002	8	8	
いんげん (可食鞘つき)	289.00	0.372	0.440	8	8	15
ライマビーン (緑色)	51.00	0.048	0.022	8	8	
スナップビーン.....	289.00	0.372	0.440	8	8	
いんげん (多汁鞘なし)	51.00	0.048	0.022	8	8	15
ブルーベリー.....	59.00	0.017	0.043	8	8	
ブロッコリ.....	115.00	0.091	0.014	8	8	9,11
キャベツ.....	98.70	0.182	0.010	8	8	11
カノーラ.....	278.00	0.000	0.000	8	8	7
カンタループレモン.....	130.00	0.083	0.004	8	8	
にんじん.....	98.00	0.322	0.786	8	8	
カリフラワー.....	65.00	0.029	0.001	8	8	
セロリー.....	36.00	0.114	0.013	8	8	11
酸味おうとう (タルト)	68.40	0.035	0.027	8	8	4
甘味おうとう.....	60.50	0.031	0.024	8	8	4
きゅうり.....	130.00	0.134	0.014	8	8	
グレープフルーツ.....	189.00	0.271	0.059	8	8	
結球レタス.....	240.00	0.394	0.000	8	8	

リーフレタス.....	51.00	0.025	0.002	8	8	16
マスクメロン.....	159.00	0.118	0.007	8	8	11,18
ネクタリン.....	33.00	0.024	0.000	8	8	
たまねぎ (乾燥球部).....	246.00	0.199	0.022	8	8	11
西洋なし.....	84.00	0.228	0.848	8	8	
ガーデンピー (エンドウ、多汁鞘なし).....	314.00	0.319	0.288	8	8	15
ベルペッパー.....	70.60	0.040	0.007	8	8	
パイナップル.....	36.00	0.126	0.175	8	8	9
すもも.....	151.00	0.083	0.251	8	8	9
ほうれんそう.....	36.00	0.081	0.099	8	8	
いちご.....	53.00	0.064	0.015	8	8	
さとうきび.....	830.00	1.386	0.463	8	8	3
ひまわり.....	1980.00	0.008	0.000	8	8	
かんしょ.....	90.50	0.072	0.154	8	8	11
すいか.....	193.00	0.142	0.008	8	8	
アーモンド.....	428.00	0.005	0.001	5	5	10
あんず.....	24.00	0.063	0.207	5	5	
アボカド.....	88.00	0.023	0.001	8	5	
バナナ.....	24.20	0.426	0.555	5	5	5,11
レッドビート.....	13.00	0.042	0.102	5	5	
そば.....	81.00	0.002	0.000	5	5	
ココヤシ.....	0.00	0.050	0.660	5	5	
コーヒー.....	75.00	0.086	0.000	8	5	
コラード.....	15.00	0.035	0.009	5	5	
ササゲ (乾燥鞘なし豆).....	36.8	0.006	0.001	5	5	
クランベリー.....	27.00	0.060	0.008	5	5	
ブラックス.....	430.00	0.000	0.000	5	5	
レモン.....	69.00	0.040	0.002	8	5	
マンダリン (タンジェリン).....	28.00	0.021	0.001	5	5	11
メロン (ハニーデュー).....	29.00	0.034	0.003	5	5	
プロソミレット.....	292.00	0.000	0.000	5	5	
ミント.....	122.00	0.001	0.000	5	5	19
からしな.....	9.70	0.027	0.000	5	5	12
オクラ.....	5.70	0.027	0.000	5	5	
えんどう (乾燥).....	394.00	0.005	0.016	5	5	9,15
ペカン.....	453.00	0.010	0.000	5	5	
スカッシュ.....	41.00	0.008	0.000	5	5	
はつかだいこん.....	46.00	0.003	0.000	5	5	
アメリカマコモ.....	31.40	0.000	0.000	5	5	
ライ麦.....	546.00	0.008	0.000	5	5	
べにばな.....	211.00	0.003	0.000	5	5	
サマースカッシュ.....	29.00	0.059	0.003	5	5	13
ウィンタースカッシュ.....	29.00	0.060	0.198	5	5	13
かぶ.....	20.00	0.043	0.000	5	5	
きくいも.....	0.00	0.000	0.000	3	3	
ライマピーン (乾燥).....	44.40	0.015	0.000	5	3	
ブラックベリー.....	7.90	0.018	0.000	3	3	11
はくさい.....	8.70	0.007	0.000	3	3	17
カカオ豆 (ココア).....	0.00	0.077	0.008	5	3	
イナゴマメ.....	0.00	0.000	0.000	3	3	
くり.....	2.32	0.000	0.000	3	3	
ひよこ豆 (ガルバンゾ).....	4.00	0.001	0.000	3	3	
ポップコーン.....	268.00	0.013	0.001	5	3	
ササゲ (多汁鞘なし豆).....	20.2	0.019	0.009	3	3	
ササゲ (まぐさ乾草).....	16.4	0.000	0.000	3	3	
クラブアップル.....	0.00	0.001	0.000	3	3	
なす.....	5.30	0.011	0.000	3	3	
アメリカニワトコ.....	0.00	0.000	0.000	3	3	
エンダイブ (キクヂシャ).....	6.00	0.002	0.000	3	3	
にんにく.....	14.80	0.001	0.000	3	3	
グースベリー.....	0.00	0.001	0.000	3	3	
ホップ.....	34.00	0.007	0.000	5	3	
西洋わさび.....	0.00	0.000	0.000	3	3	

ハックルベリー	0.00	0.000	0.000	3	3	
ケール	6.20	0.003	0.000	3	3	
コールラビ	0.00	0.000	0.000	3	3	
リーキ	0.00	0.000	0.000	3	3	
ひら豆	162.00	0.002	0.000	5	3	
ライム	6.60	0.006	0.000	3	3	
メロン (カサバ)	0.00	0.001	0.000	3	3	
メロン (クレンシヨウ)	0.00	0.000	0.000	3	3	
くわ属の実	0.00	0.000	0.000	3	3	
マッシュルーム	3.00	0.040	0.002	3	3	6
オリーブ	33.30	0.017	0.003	5	3	
葉たまねぎ	18.10	0.004	0.000	3	3	11
パセリ	5.10	0.007	0.001	3	3	
パースニップ	0.00	0.001	0.000	3	3	
らっかせい (多年生)	6.00	0.000	0.000	3	3	
フィールドピー (オーストリア冬) (まぐさ/乾草)	36.40	0.000	0.000	5	3	
えんどう (可食鞘つき)	0.00	0.000	0.000	3	3	15
ガーデンピー (乾燥)	232.00	0.003	0.016	5	3	
ペッパー (ペル以外)	27.70	0.016	0.000	3	3	
ピスタチオ	52.00	0.000	0.000	5	3	
なたね	7.7	0.000	0.000	3	3	
ラズベリー (黒、赤)	15.00	0.006	0.000	3	3	
カブカンラン	0.00	0.005	0.000	3	3	
いが豆	0.00	0.000	0.000	3	3	
バラモンジン	0.00	0.000	0.000	3	3	
ごま	0.00	0.001	0.000	3	3	
フダンソウ (スイス)	0.00	0.003	0.000	3	3	
タンジェロ	20.00	0.005	0.000	3	3	
たばこ	681.00	0.000	0.000	3	3	8
くるみ (黒、イギリス)	214.00	0.009	0.005	5	3	
やまいも	3.50	0.003	0.006	3	3	
りんご (シュガー)	0.30	0.000	0.000	2	2	11
Arracacha	0.30	0.000	0.000	2	2	
アーティチョーク (球部)	12.00	0.006	0.000	3	2	
マンゴビーン	15.00	0.012	0.000	3	2	
チンゲンサイ	1.70	0.001	0.000	2	2	17
ボイゼンベリー	1.20	0.001	0.000	2	2	
ブロッコリ (中国) (gailon)	0.60	0.000	0.000	2	2	
芽キャベツ	4.40	0.013	0.007	3	2	
ヒョウタンノキ	2.00	0.000	0.000	2	2	
カラシボラ	0.50	0.000	0.000	2	2	
苦キャッサバまたは甘キャッサバ	0.50	0.000	0.000	2	2	
チコリー	0.42	0.001	0.000	2	2	
スグリ	0.34	0.001	0.000	2	2	
さといも (タロイモ)	1.70	0.000	0.000	2	2	
なつめやし	6.80	0.001	0.000	3	2	
イノンド (種子、草)	0.30	0.000	0.000	2	2	
いちじく	17.00	0.005	0.001	3	2	
ハシバミ/ヘーゼルナッツ	28.70	0.001	0.000	3	2	
しょうが	0.30	0.002	0.000	2	2	
朝鮮にんじん	5.00	0.000	0.000	3	2	
グア	6.70	0.000	0.000	3	2	
グアバ	1.20	0.000	0.000	2	2	
キウイフルーツ	9.00	0.000	0.000	3	2	
ローガンベリー	0.24	0.000	0.000	2	2	
マカダミアナッツ	24.00	0.000	0.000	3	2	
サボテ (マーメイ)	0.30	0.000	0.000	2	2	
マンゴー	3.16	0.001	0.000	3	2	
からし (中国)	0.40	0.000	0.000	2	2	
パパイヤ	3.90	0.010	0.000	3	2	
パッションフルーツ	0.27	0.000	0.000	2	2	
ポポー	0.00	0.000	0.000	3	2	
かき	2.60	0.001	0.000	3	2	

ピメント.....	1.80	0.004	0.000	2	2
バナナ (料理用)	12.50	0.003	0.000	3	2
ざくろの実.....	3.50	0.000	0.000	3	2
マルメロ.....	0.00	0.000	0.000	3	2
だいこん.....	0.30	0.000	0.000	2	2
ルバーブ.....	0.90	0.007	0.000	2	2
タニア (ココヤム)	2.00	0.000	0.000	2	2
オランダガラシ.....	0.46	0.001	0.000	2	2
アセロラ.....	0.05	0.000	0.000	1	1
アテモヤ.....	0.10	0.000	0.000	1	1
カラモンジン.....	0.01	0.000	0.000	1	1
オランダガラシ (地上)	0.10	0.000	0.000	1	1
たんぼぼ.....	0.20	0.001	0.000	1	1
チブサノキの果実.....	0.05	0.000	0.000	1	1
キンカン.....	0.10	0.000	0.000	1	1
リュウガンの実.....	0.08	0.000	0.000	1	1
れんこん.....	0.03	0.000	0.000	1	1
レイシ.....	0.20	0.000	0.000	1	1
えんどう (スノー)	0.10	0.000	0.000	1	1
シャロット.....	0.10	0.001	0.000	1	1

脚注：

1. 本表の栽培面積の値は、重要な3つの図に示してある。
2. これらの産物 (えんぱくおよび米) に必要な圃場試験例数は、離乳幼児の消費量が高いことから、12から16へと1段階引き上げられた。
3. てんさいおよびさとうきびに必要な圃場試験例数は、全人口の消費量の $\geq 0.4\%$ であったため1段階の引き上げはなかった (あるいは「方法」の基準(6)で論じたとおり、消費量の $> 1\%$ であるため引き上げられた)。なぜなら、(a)この2つの産物 (砂糖) に由来するヒトの主要な食物は極めて洗練されており、(b)そのいずれも国内の主要な動物飼料ではないためである。
4. 甘味おうとうおよび酸味おうとう (タルト) の個別の消費推定量は、それぞれの生産高 (栽培面積) ごとにおうとうの総消費量を加重することにより得られた。
5. 生産高が地理的に限定されていることは、バナナの圃場試験例数を削減する基準としては使用されなかった。というのは、必要とする試験例数が少ないうえ、幼児や子供によるバナナの消費量が大きいためである。
6. マッシュルームに必要な圃場試験例数は引き下げられた。なぜなら、マッシュルームは一般に、残留量の変動がほとんどなくなる可能性のある比較的一定の栽培条件の下で室内栽培されるからである。
7. カノーラ製品の生産高と消費量が拡大しているため、カノーラには8例の圃場試験が要求されよう。
8. たばこの圃場試験例数は、食事暴露評価に対してたばこの重要性が限定的であるため引き下げられた。
9. 生産高が地理的に限定されているということは、ブロッコリ、パイナップル、およびすももの圃場試験例数を削減する基準としては使用されなかった。なぜなら、これらの産物の消費量が広い範囲で高い水準にあるためである。また、同様にえんどう (乾燥) の圃場試験例数を削減するためにも使用されなかった。その理由は、栽培面積が大きいうえ、えんどう (乾燥) に代表されるえんどう類は品種が多数にのぼるからである。
10. アーモンドの圃場試験例数は食事消費量が低いことからすでに削減されているため、1つの地域で生産高が $> 90\%$ であるからといって、さらに削減することはなかった。
11. 下記の産物に関し、栽培面積のデータ (千エーカー単位で表示) および消費量には、産物それ自体の値、および40 CFR 180.1(h)で定義されるトレランスが適用されるその他の産物の栽培面積と消費量の値の双方が含まれている：りんご (砂糖) : りんご (砂糖) (0.2)、アテモヤ (0.1) バナナ: バナナ (11.7)、バナナ (料理用) (12.5)、ブラックベリー類: ブラックベリー (6.7)、ボイゼンベリー (1.2) ブロッコリ: ブロッコリ (114)、ブロッコリ (中国) (gai lon 0.6) キャベツ: キャベツ (90)、はくさい (8.7) セロリー: セロリー (36)、ウイキョウ (消費量データのみ入手可) マンダリン (タンジェリン) : タンジェリン (15)、タンジェロー (13) マスクメロン: カンタループメロン (130)、ハニーデュー (29) ; 消費量のデータは、キャッサバ、クレンショーおよびメロン (ペル

- シャ)についても入手可 たまねぎ(乾燥球部):たまねぎ(乾燥球部)(231)、にんにく(14.6) 葉たまねぎ(緑色):葉たまねぎ(緑色)(18)、シャロット(0.1) すもも:すもも(240)、ネクタリン(33) かんしょ:かんしょ(87)、やまいも(3.5) 小麦:小麦(61557)、トリチカレ(152)
12. あぶらな科の葉菜の作物サブグループ(付録の表3を参照)の代表的産物としてからしなを使用する場合、8例の圃場試験が必要。
 13. かぼちゃ全体の推定栽培面積を2で割り、サマースカッシュとウィンタースカッシュの栽培面積を別々に推定した。
 14. 推定栽培面積は、ある産物の栽培面積のデータが入手できない場合0.000で示す。
 15. これらいんげん/えんどう産物には、複数の種類のいんげん/えんどうを含む。このようなグループそれぞれに含まれる特定産物は、下に示す。各ケースにおいて圃場試験を実施すべき特定の代表的産物は、40 CFR 180.41に記載されている代表的産物である: いんげん(可食鞘つき): *Phaseolus spp.*, *Vigna spp.*, なたまめ(jackbean)、未成熟大豆種子、およびなたまめ(swordbean)として作物サブグループ6-Aにリストされている産物を含む。えんどう(可食鞘つき): *Pisum spp.*, およびキマメとしてサブグループ6-Aにリストされている産物を含む。いんげん(多汁鞘なし): *Phaseolus spp.*, *Vigna spp.*, およびそら豆として作物サブグループ6-Bにリストされている産物を含む。えんどう(多汁鞘なし): *Pisum spp.*, およびキマメとして作物サブグループ6-Bにリストされている産物を含む。いんげん(乾燥鞘なし)(大豆を除く): *Lupinus spp.*, *Phaseolus spp.*, *Vigna spp.*, グアールおよびラブラブピーンとして作物サブグループ6-Cにリストされている産物を含む。えんどう(乾燥鞘なし): *Pisum spp.*, ひら豆およびキマメとして作物サブグループ6-Cにリストされている産物を含む。
 16. リーフレタスの推定消費量には、「レタス(リーフ変種)」および「レタス(不特定)」を含む。
 17. はくさいおよびチンゲンサイの個別の推定消費量は、2つの産物の総消費量をそれぞれの関連した生産高(栽培面積)で加重することにより得られた。
 18. マスクメロンのトレランスは、カンタループメロンの残留データを使用して得られる可能性がある。
 19. スペアミントとペパーミントのどちらが別々のトレランスを求めている場合、5例の圃場試験が依然、必要である。

添付書8. 残留分析を目的とする監督下圃場試験から得た農産物の試料の最小サイズに関する Codex ガイドライン

CCPR 1987 ALINORM 87/24A 付録4 別紙1

(第19回 CCPR ALINORM 87/24A 251項, 1987により「暫定的に採用」)

「農薬登録および最大残留基準値設定のためのデータ提供を目的とする農薬残留試験に関するガイドライン」には、例として選り出した多数の作物について試料の最小サイズを推奨している「試料採取ガイド」という題の項がある。近年の試料採取の実地経験からすれば、試料サイズのガイドラインでの推奨を見直す必要があり、残留データの作成および試料採取に関する特別作業グループは、試験ガイドラインにおける関連する項を本別紙1に沿った別紙2に入れ替えるよう推奨している。

主な変更点は次の一般原則を採用した結果生じている。すなわち、ベリー類、ナッツ類、穀物および未成熟野菜類のような極めて小さい品目などを例外として、最低重量よりも作物単位数を取り上げて推奨する方が適切であるという原則である。多くの場合、大きな品目は12単位、小さい品目は24単位取することを推奨することになっている。例えば、4反復のそれぞれから3単位(小さい品目は6単位)というふうに、12単位選り出せば混成試料を容易に計画できる。果樹の果実を採取する際、4本の木それぞれから6個の果実を採取することが推奨される場合にも便利である。この12単位取り上げるという原則は、12地域の区画から試料採取することに併せ、試料の最低重量が提案され

ている穀粒、飼い葉、または穀物などの作物に容易に上げられている。

多数の作物は機械的に収穫可能であり、このような場合は処理区の中を進みながら収穫機から 12 の主要試料を取り出すことが推奨されている。

通常は推奨されていないが、残留分析機関への出荷前に大きな品目または重い品目の部分試料を採取することが時折必要となろう。この作業は別紙 2 に規定されている特殊な試料採取問題に限定されなければならない、そのためには代表性を完全に維持した部分試料とすることの重要性を常に留意し、試料が汚染したり腐敗したりする可能性をいっさい排除すること。重要なのは、清潔な区画がある場合、および関係職員が本課題について特別な指導や研修を受けている場合にのみ実施すべきことである。

特別作業グループでは、最小サイズの推奨は、比較的小さな区画であることも多い監督下試験から採取される際の、ヒトの消費用に収穫されることになる生育段階の作物の試料を対象としていると強調している。特により大きな区画または圃場を試料採取に使用しているような状況ではより大きな試料を採取する必要がある。とりわけ定量限界が低い場合（従ってより大きな分析試料が必要となる可能性がある）、または多成分分析（より大きいか、または複数の分析試料が必要）の場合には、一部の作物はより大きな試料を必要とする可能性もある。大部分の分析法で必要とする試料サイズが小型であることは圃場試料のサイズを決定するうえでの主要素ではなく、代表的な材料を入手することこそ圃場で優先しなければならない。

残留物減少試験で必要となる未成熟作物の量を定める際には、代わりの検討をしてもよい。

試料の種類	Codex コード番号	過去の推奨	新規の推奨
飼い葉およびてんさい.....	VR0596..... AM1051.....	5 kg(最低 5 植物)	12 植物
ばれいしょ	VR0589.....	5 kg または 5 品目	塊茎 24 個または最低 6 植物からきわめて大きいもの 12
その他の根菜 (例: にんじん、レッドビート、キクイモ、かんしょ、セロリー、かぶ、スウェード、パースニップ、西洋わさび、パラモンジン、チコリー、はつかだいこん、フタナミソウ。)	グループ 016.....	5 kg(大型) 2 kg(小型品目)	大型の根菜 12 または最低試料重量が 2 kg の小型の根菜 24 (以上)
リーキ.....	VA0384.....	2 kg.....	12 植物
ねぎ.....	VA0389.....	2 kg.....	最低試料重量が 2 kg の 24 植物 (以上)
シャロット.....	VA0381..... VA0388.....	2 kg.....	最低 12 植物から 24 球部
葉が小型のサラダ作物 (例: からしな、西洋たんぼぼ、コーンサラダ)	グループ 013.....	2 kg.....	最低 12 植物から 0.5 kg(または区画内の用地)
ほうれんそう、チコリーの葉.....	VL0469..... VL0502..... VL0503.....	2 kg.....	最低 12 植物から 1 kg
レタス.....	VL0482..... VL0483.....	2 kg.....	12 植物または個々に葉が採取されれば最低 12 植物から 1 kg
エンダイブ.....	VL0476.....	2 kg.....	12 植物
ケールのまぐさ、ケール.....	AV0480..... VL0480.....	5 kg.....	最低 2 つの高さから採取された最低 12 の植物から 2 kg